

図7 関西地域におけるランドサットの衛星画像（阪神コンサルタンツによる）

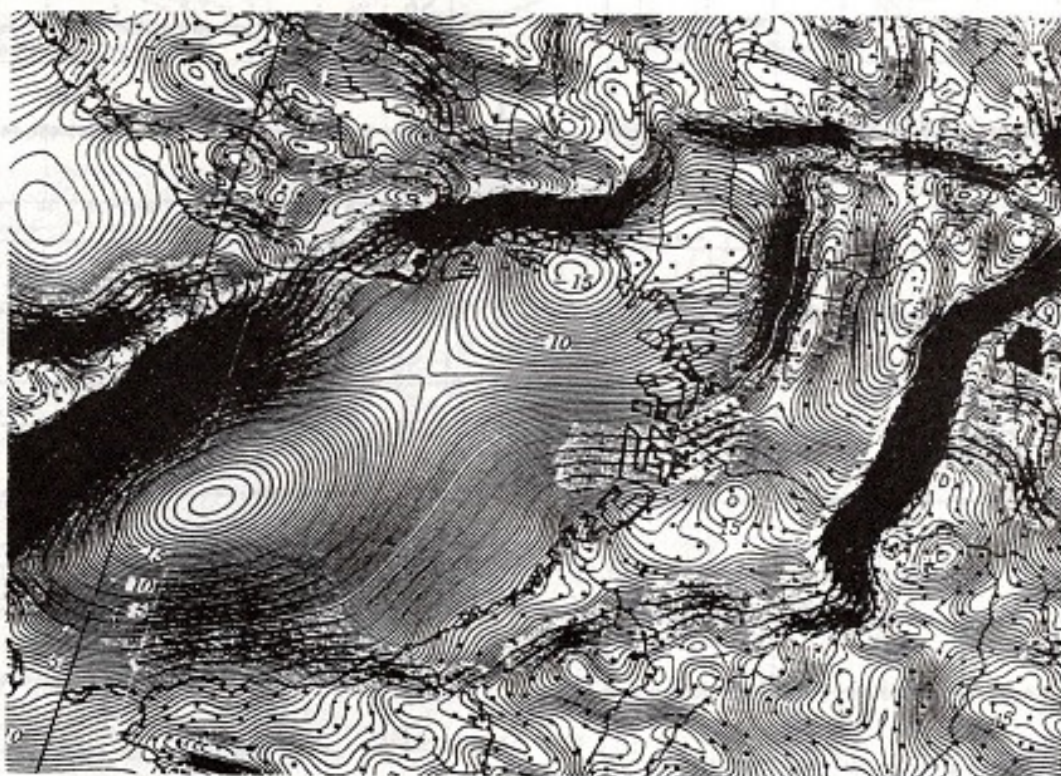


図8 関西地域の重力異常図（地質調査所による）



現在 [8]



1932年(昭和7年) [7]

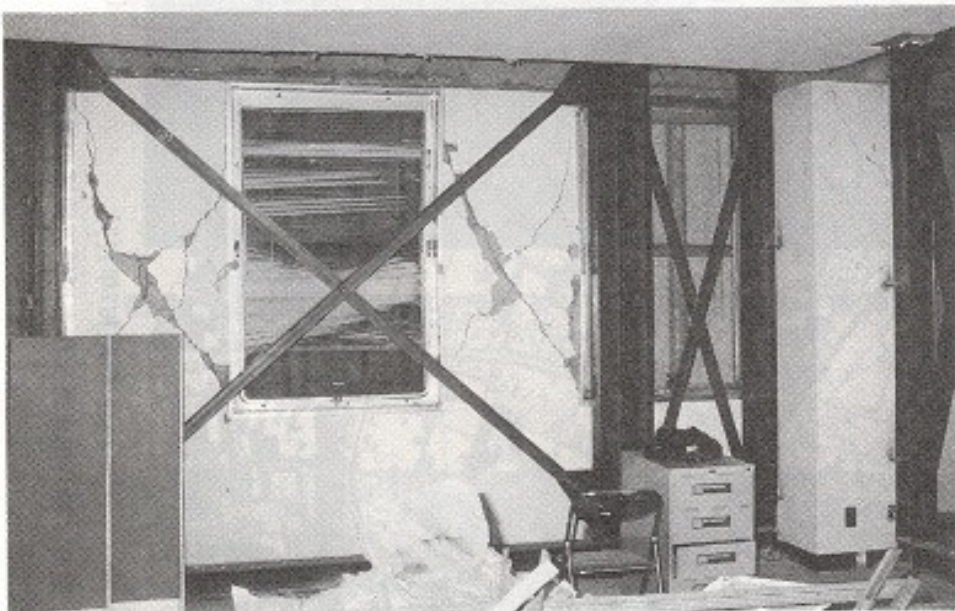
図9 神戸市東灘区住吉川周辺地域の地形図



1884-1886年(明治17-19年) [7]



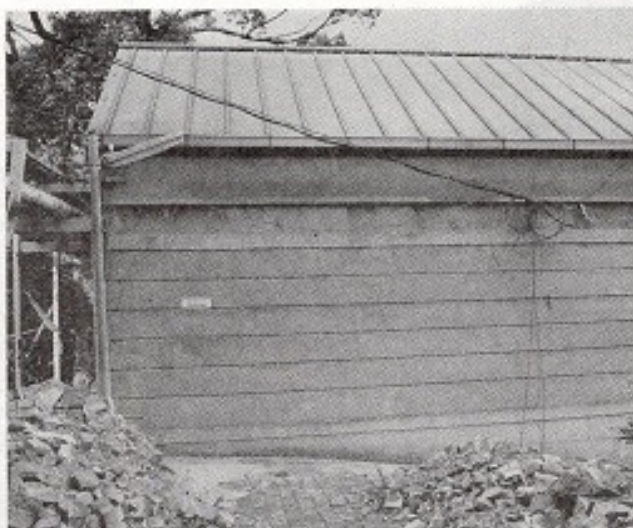
[写真 1]地震時のビデオ画像が撮影されたNHK神戸放送局の概観。RC4階建の建物は近々取り壊される予定になっているとのこと（中央区中山手通，6/3撮影）。



[写真 2]NHK神戸放送局で最も大きな被害を生じた2階部分。地震から1週間の間、補強なしの状態で行事しており、壁の亀裂からは外が見えていたとのこと（同上）。



[写真 3]同じく3階のビデオ撮影現場。ビデオカメラとほぼ同じアングルで見た室内の状況（同上）。



[写真 5]神戸海洋気象台の地震観測室(同)

[写真 4]神戸海洋気象台(崖上)とその周辺の状況。崖下手前の木造住宅は瓦屋根がずれた程度で、ほかに重大な被害は見あたらない(中央区中山手通, 3/4撮影)。



[写真 6]三宮フラワー通りにはビル屋上の無被害の広告塔が目につく(6/3撮影)。



[写真 7]木造住宅の崩壊現場でも回りの塙は被害軽微(芦屋市翠ヶ丘, 1/21撮影)。



[写真 9]写真8と類似の状況は三宮下山手通でも見受けられた。「ビル倒壊の恐れあり通行危険」の表示の脇を車が頻繁に走行している(6/3撮影)。

[写真 8]5/12の大雨で突然崩壊した三宮磯上通のビル崩壊現場。この時点ではほぼ片付けが終っている(6/3撮影)。